

「食べ残しを減らそう県民運動」 『宴会たべきりキャンペーン』を実施します

生ごみの発生抑制を目的とした「食べ残しを減らそう県民運動」の一環として、特に食べ残しが多い「宴会での食事」に焦点をおいて、飲食店等や宴会出席者へ食べ残しを出さないための呼びかけなどを行う「宴会たべきりキャンペーン」を実施します。

1 実施期間

平成23年12月～24年1月(忘・新年会シーズン)

2 実施主体

長野県、信州豊かな環境づくり県民会議

3 実施内容

宴会で食べ残しをしないための呼びかけ例を掲載した幹事(たべきり応援幹事)向けのチラシ(別紙1)を、飲食店や宿泊施設等を通じて「たべきり応援幹事」に配付する。

お店の役割 : チラシ(別紙1)を幹事さんへ配布し、『たべきり応援幹事』による呼びかけを提案する。

たべきり応援幹事の役割 : 『たべきり応援幹事』となり、参加者へチラシ(別紙1)の呼びかけ例を参考に食べきり実践に向けた呼びかけを行う。

4 周知先

「食べ残しを減らそう」協力店、及び協力店以外の飲食店等
市町村、関係団体等
県職員は率先して実施

5 その他

詳しくは、長野県ホームページをご覧ください。

(組織でさがす 環境部 廃棄物対策課 「食べ残しを減らそう県民運動」)

<http://www.pref.nagano.lg.jp/kankyo/haiki/tabekiri/index.htm>



環境部 廃棄物対策課 資源化推進係
(課長)古厩昭彦 (係長)古川 浩(担当)山岸絵里
電 話 : 026-235-7181(直通)
026-232-0111(代表) 内線 2794
F A X : 026-235-7259
E-mail : tabekiri@pref.nagano.lg.jp



宴会 キャンペーン

幹事さん！「たべきり応援幹事」として、食べ残しの出ないエコな宴会を演出してみませんか？

全部
できたら
名幹事！

たべきり応援幹事 心得

当日編

- 一、お開き前(中締め前)には有るを尽くして食べきるよう呼びかけましょう
- 一、大皿にちよつとずつ残ったお料理は食べられる人に勧めましょう

※裏面の呼びかけ例を参考にしてください

※信州人の一個残しは「もったいない」ですよ

※裏面の呼びかけ例を参考にしてください

予約編

- 一、お店を予約する時は参加者の年齢層や男女比、会の趣旨などをお店の人に伝えましょう
- 一、宴会開始時に「残さず食べよう」と呼び掛けて食べ残しが出ないようにしましょう

※お店は、顔ぶれに合わせたお料理を考えています

裏面に呼びかけ例があるよ。

「もったいない 食べるよろこび 考えよう」

(食べ残しを減らそう県民運動応援メッセージ 中学生の部 入賞作品)



☆宴会開始時(乾杯の後など)の呼びかけ例

ご出席の皆様にお願ひ申し上げます。

私は「食べ残しを減らそう県民運動」に賛同し、「たべきり応援幹事」として、お料理を残さず食べることを皆さんにお願ひしたいと思います。本日は、お料理を充分にご用意しました。お酌に回る前に、お席に着き、ごゆっくりお召し上がりください。

☆お開き前(中締め前)の呼びかけ例

そろそろ、万歳(締め、お開き)となりますが、その前に、皆様もう一度始めの席にお戻りください。

テーブルの上にはまだまだお料理が残っております。

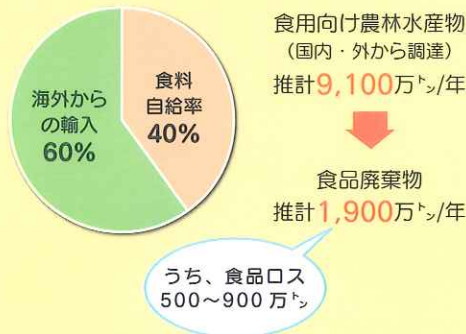
有るを尽くして、気持ちよくお開きにしましょう。



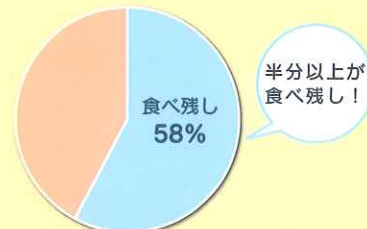
食べ残しを減らそう県民運動とは…

長野県では食品の廃棄を減らそうと、県民運動として呼びかけを行っています。また、県内各地域の「食べ残しを減らそう」協力店がこの取組に参加しています。

日本の食料と食品廃棄



飲食店等での「食品ロス」発生要因



食品ロス：本来食べられるにもかかわらず捨てられているもの

長野県のごみの状況

一人一日あたり約1kgのごみを出しています。

1kgあたりの処理費用は約32円!

○総排出量は1年間に約70万トン

(東京ドーム約2杯分)

○処理費用年間約226億円

県民一人あたり 10,400円

※出典：農林水産省「食品ロスの削減に向けて」、国際連合食糧農業機関 (FAO) ほかより

※H21年度一般廃棄物実態調査結果から算出